令和８年度　日枝中学校　研究構想　　【英語科】

【高山市立学校教育の方針と重点】
～教育の願い～
郷土高山に根差した心に残る教育を想像する
～教育の方針～
未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成

学校の教育目標
I　C　C
自主　創造　協同
自ら問いを立て、他者と共に、よりよいものを創り出す姿

【保護者・生徒・地域・生徒の願い】
■たくましく生き抜いて欲しい。
■これからの地域を支えてもらいたい。
■自信をもち表現できるようになって欲しい。
■考えて行動できるようになって欲しい。
■課題にたくましく立ち向かって欲しい。
■よりよいものを求めて欲しい。

【育成すべき資質・能力】
『自ら探究する力』
～自らの学びを振り返り、次の学びへと向かって粘り強く取り組む力～

【全校研究主題】
自ら探究する生徒の育成

【英語科で目指す生徒の姿】
常に自分ごととして題材を捉え、目的・場面・状況に合わせて、既習表現を駆使しながら自分の考えを表出する姿

【　研究内容１　】
自ら探究する力を育む指導の工夫

①生徒が願いをもち見通しをもって探究できる単元構想の工夫
・単元構想時のルーブリック作成
②探究意欲を高める授業づくりの工夫
・題材を自分ごととして捉えられる導入や発問の工夫
・単元の題材に関連した既習表現の指導の位置付け
③生徒一人ひとりの学びを支える指導の工夫
・Improving Time（ALT や JTE、仲間に自分の考えを伝え、内容を深め表現を磨く場）の設定

【　研究内容２　】
自ら探究する力を育む評価の工夫

①教科の付けたい力を育む評価の工夫
・生徒の出口の姿に向けたスモールステップの指導と評価の計画の作成（思判表の指導の位置付け）
・ルーブリックに基づき、目的、場面、状況に合わせた「内容の適切さ」や「表現の工夫」を見届ける単位時間の Activity
②次の学びへと向かうための評価の工夫
・単位時間の気付きや表現を単元末活動につなげるための Unit Sheet を活用した評価
・目的・場面・状況に応じて表現する姿の価値付け